

月形町

地域新エネルギービジョン

(概要)

平成21年2月

石油を使ったときにでる二酸化炭素が空気中に増加し、地球温暖化がますます深刻化しています。世界中ではそのように発生される二酸化炭素を減らすために、化石燃料に変わる新エネルギーを利用する動きが活発になっています。

稲わら・もみから・木くず・家畜の糞尿や生ごみや燃えるごみなど、月形町でも今捨てられている廃棄物や身近にある未活用の資源を「新エネルギー」として再活用することができます。このように、わたしたちの身近にあるものには、エネルギーとして利用できるものがたくさんあります。

月形町のみなさん、地球のため、月形町の未来のためにも二酸化炭素をださない工夫を一緒に考え、行動しましょう。

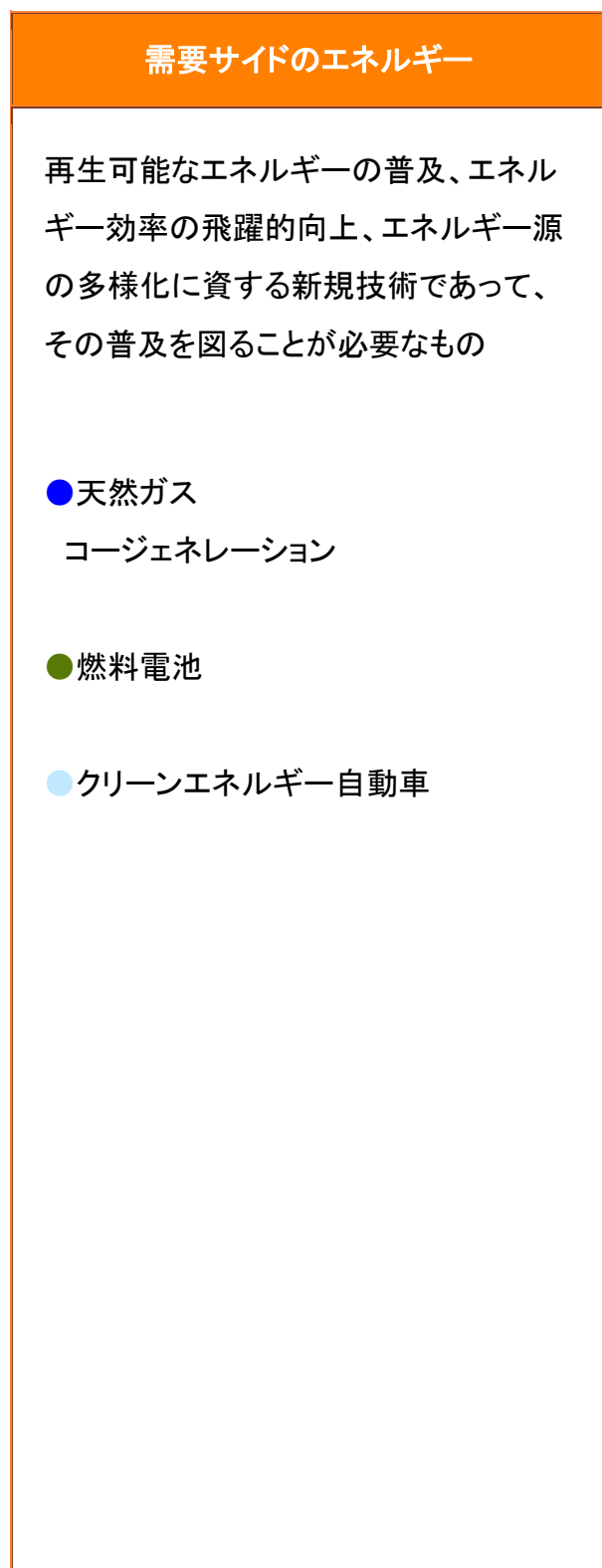
新エネルギーって何だろう？

◇新エネルギーは、地球にやさしいエネルギー

自然の力や、今までに使われずに捨てていた資源を有効に利用する地球にやさしいエネルギーが「新エネルギー」です。

石油などの化石燃料の消費が軽減され、排出される二酸化炭素の量を減らすこともできます。新エネルギーは

10 種類のエネルギーがあります。



太陽熱利用とは？

太陽の熱エネルギーを給湯や冷暖房に使います。

バイオマス熱利用とは？

植物などから得られた有機物を熱エネルギーとして利用します。

温度差熱利用とは？

大気と河川水などの温度差や工場などの排熱を利用します。

雪氷熱利用とは？

雪や氷の冷熱エネルギーを冷房に利用します。

太陽光発電とは？

太陽の光を直接電気に変えて利用します。

風力発電とは？

風の力を利用して電気を起こし利用します。

バイオマス発電とは？

植物などから得られた有機物をエネルギーで電気を起こして利用します。

中小水力発電とは？

川などの水の力で水車を回して電気を起こして利用します。

地熱発電(バイナリ方式)とは？

温泉などの地熱を間接的に利用し電気を起こして利用します。
間接的に利用するため、使い終わった地熱は地球にもどします。

バイオマス燃料製造とは？

植物などから得られた有機物から燃料を製造し利用します。

天然ガスコージェネレーションとは？

天然ガスを利用して発電機で電気を作るときに発生する熱も利用できます。

クリーンエネルギー自動車とは？

電気自動車、ハイブリット自動車は、大気を汚さずに地球環境にやさしい自動車です。

燃料電池とは？

燃料電池は、「水の電気分解」と逆の原理で発電し、電気を利用できます。

みんなの役割

町民としては

新エネルギーのシンポジウムや学校での勉強に積極的に参加し、知識をみんなで共有し、月形町のまちづくりに活かしましょう。また、省エネやごみの減量など、できることから取り組みましょう。

事業者としては

事業で使用するエネルギーの非化石燃料化の検討や、バイオマスエネルギー利活用プロジェクトに積極的に参加し、新エネルギーの導入・利活用を推進し、資源循環型の事業を目指しましょう。

行政としては

町民や事業者に情報の提供や教育、イベントなどを通じ、月形町の「自然・環境・エネルギー問題」を考える場を提供します。公共施設の整備において、新エネルギー利用の可能性を積極的に検討します。

「新エネルギービジョン報告書」と「月形町総合振興計画」の整合性をとりながら重点プロジェクトを推進し、バイオマス利用推進コーディネーターとしての役割を果たします。

現在の月形町のエネルギー消費量

月形町では、ドラム缶にすると年間 66,000 本分(原油換算:1 本=200L)のエネルギーを消費しています。これは、エネルギーに換算すると 509,049GJ(ギガジュール)にもなります。このエネルギー使用から発生する二酸化炭素(CO₂)推定すると、年間 39,656 トンもの排出になります。

月形町の利用可能な新エネルギー量

月形町には、「活用できる新エネルギー」がドラム缶にすると年間 22,000 本分もあり、エネルギーに換算すると年間 169,137GJ(ギガジュール)にもなります。

新エネルギーとして利用可能なエネルギー量

ドラム缶 年間 **22,000** 本分

エネルギー 年間 **169,137** GJ(ギガジュール)

月形町の新エネルギー導入目標

月形町では、いままで二酸化炭素を発生させていた化石燃料によってまかなわれていたエネルギーの一部を『新エネルギー』でまかなうことにより、地球温暖化防止に取り組んでいきます。新エネルギーの導入で、これだけのエネルギーと二酸化炭素の排出を削減しよう。

新エネルギー導入による、エネルギー供給量の目標

2018(平成 30)年度までに

ドラム缶 年間 **4,441** 本分(33,960,000MJ)

二酸化炭素の排出量 年間 **2,388** トン

月形町 実施プロジェクト

月形町では 6 つの取り組みで目標を達成します。

※各プロジェクト名の右の数字は、前項の目標における各プロジェクトが賅うことができるエネルギー量と、各プロジェクトの割合。

1 新エネルギー普及啓発プロジェクト

町民・事業者・行政が新エネルギーについて情報や知識を得て、新エネルギーに対する理解を深めることのできる環境を提供します。

2 バイオマスエネルギー利用プロジェクト

ドラム缶 3,576 本 80%

現在捨てられている生ごみ・燃えるごみ・農業残渣(稲わら)を収集回収し、地域のエネルギーに変換し提供することにより、温室効果ガスの削減による地球温暖化防止に貢献します。

3 太陽光発電・熱利用プロジェクト

ドラム缶 271 本 6%

学校などの広大な屋根を持つ建物には太陽光発電や給食センターなどの温水熱源を利用する施設には太陽熱利用など、公共施設には太陽光エネルギーの導入を促進します。

4 木質バイオマス利用プロジェクト

ドラム缶 603 本 11%

間伐材・林地残材を用いて木質エネルギー資源を供給し、循環型社会の形成・地産地消のまちづくりや産業の育成を行います。

5 雪氷冷熱利用プロジェクト

ドラム缶 17 本 1%

積雪の多い月形町で雪氷冷熱を「花卉保冷」や「農産物一次収集施設」に役立てることで、新エネルギーの活用はもちろん、『花の里つきがた』の地名向上につながります。

6 クリーンエネルギー自動車普及プロジェクト

ドラム缶 74 本 2%

町の公用車をすべてグリーンエネルギー自動車に更改することにより、地域住民や事業者の意識を変え、クリーンエネルギー自動車の導入促進につなげます。

独立行政法人 新エネルギー産業技術総合開発機構
平成20年度「地域新エネルギー・省エネルギービジョン策定事業」